

【記載例】

※複数の宿泊施設を営業している場合

様式第1号（第5条関係）

令和2年 8月 15日

小樽市宿泊業事業継続追加支援金支給申請書

記載日を記入

(宛先) 小樽市長

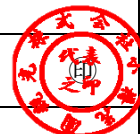
小樽市宿泊業事業継続追加支援金を受けたいので、小樽市宿泊業事業継続追加支援事業実施要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

なお、申請に当たり、同要綱第7条に規定する「暴力団等」に該当しない者であること及び「暴力団等」を宿泊施設の営業に関与させないことを誓約します。

また、申請内容に虚偽等があった場合には、支援金の支給の取消し及び返還に異議なく応じます。

1 申請事業者（法人又は個人事業者）情報

所在地	〒047-0024 小樽市花園2丁目12番1号	
申請者の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人事業者 ※いずれかに✓を記入	
申請事業者名 (法人名又は 個人事業者名)	名称	株式会社小樽花園観光
	代表者職氏名	代表取締役 花園 太郎
電話番号 <small>※日中に連絡が取れるもの</small>	090-△△△△-××××	(担当者名 港町 海子)



2 申請金額の計算（複数の施設を営業している場合は、別紙一覧表に記載してください。）

・計算方法・・・(基準額) ÷ (請求月数) × (6 - (請求額が0円となる請求月数))

※「基準額」は下表を参考にしてください。

※「請求月数」は2か月ごとの請求回数のことです。

宿泊施設が営業許可を受けた日	基準額
平成31年3月31日以前	平成31年4月～令和2年3月に請求された上下水道料金
平成31年4月1日～令和2年1月31日	令和元年6月～令和2年3月に請求された上下水道料金
令和2年2月1日～令和2年5	令和2年4月～令和2年7月に請求された上下水道料金

水道料金の領収書を必ず添付してください。

別紙一覧表に記載した合計の申請金額を転記。

宿泊施設名	許可年月日	添付した領収書の請求月
別紙一覧表のとおり	年 月 日	年 月～ 年 月

$$\begin{matrix} \text{(基準額)} \\ \text{円} \end{matrix} \div \begin{matrix} \text{(請求月数)} \\ \text{か月} \end{matrix} \times \left(6 - \begin{matrix} \text{(0円の請求月数)} \\ \text{か月} \end{matrix} \right) \Rightarrow \begin{matrix} \text{(申請金額)} \\ \text{739,000円} \end{matrix}$$

※1,000円未満を切捨て

【小樽市使用欄】

記入しないでください。

処理年月日	支給決定 ・ 不支給	万円					確認日	/
令和2年 月 日							不支給理由	審査□ 審査□ 入力□ 入力□

売上げが分かる、帳簿などの書類を添付してください。

3 営業実績

・売上げが減少した月

令和2年 3月 4月 5月 6月 7月

・売上高 ①令和2年 月売上高

① 600,000 円

②前年同月売上高

② 2,000,000 円

・減少率

$$\left(\frac{②}{2,000,000} - \frac{①}{600,000} \right) \div \frac{②}{2,000,000} \times 100 = \frac{③}{70} \%$$

③が30%以上になることを確認してください。

4 振込先 ※日本国内の口座に限ります。

金融機関名	〇〇銀行			支店名			△△支店
預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座						
口座番号	1	2	3	4	5	6	7
フリガナ	カ) オタルハナヅノカンコウ ハナヅノ タロウ						
口座名義人	株式会社小樽花園観光 花園 太郎						

(注) ゆうちょ銀行の場合は、他金融機関からの振込の受取口座として利用する場合は、口座番号を記入してください。

1. 申請者（事業者）情報と同じ方の振込先を記入してください。振込先が異なる場合は、委任状（別紙様式）を添付してください。

5 申請要件の確認

申請者が該当する項目にをお願いします。該当しない項目がある場合は

受付できません
チェックがない場合

- 令和2年6月1日時点で、小樽市保健所の許可を受けた宿泊施設（旅館・ホテル、簡易宿所）を営業している事業者である。
- 今後も宿泊施設の営業を継続する意思がある。
- 宿泊施設に係る旅館業法の許可内容について、調査することに同意する。
- 宿泊施設に係る上下水道料金の納付状況等について、調査することに同意する。
- 暴力団員等に該当しない。

6 添付書類

- 帳簿や試算表など、売上げが30%以上減少したことが分かる書類 ← 必須①
- 振込先通帳の写し（口座名義人カナの記載事項を確認できるページ） ← 必須①
- 小樽市宿泊業事業継続支援金支給決定兼確定通知書の写し（この添付がある場合は、上記2点の添付省略可）
- 平成31年4月から令和2年7月までの期間に請求された、申請の対象となる水道料金及び下水道使用料の納入通知書兼領収証書（口座振替による支払いの場合は口座振替収納済通知書）の写し又は納入済証明書 ← 必須②
- 委任状（振込先名義人と申請者が異なる場合）
- その他（ ）

添付した書類に
チェックしてください

必須①の代替と
する事ができる

必須②

【 記 載 例 】 ※ 複 数 の 宿 泊 施 設 を 営 業 し て い る 場 合

(様式第1号別表)

小樽市宿泊業事業継続追加支援金用一覧表

● 複数の宿泊施設を営業している場合は、以下に記載してください。

・ 計算方法・・・ (基準額) ÷ (請求月数) × (6 - (請求額が0円となる請求月数))

※ 「基準額」は下表を参考にしてください。

※ 「請求月数」は2か月ごとの請求回数のことです。

宿泊施設が営業許可を受けた日	基準額
平成31年3月31日以前	平成31年4月～令和2年3月に請求された上下水道料金
平成31年4月1日～令和2年1月31日	令和元年6月～令和2年3月に請求された上下水道料金
令和2年2月1日～令和2年5月31日	令和2年4月～令和2年7月に請求された上下水道料金

水道料金の領収書を添付してください

・ 宿泊施設の情報 (営業施設数に応じて記載してください。)

宿泊施設名	許可年月日	添付した領収書の請求月
① 花園商店旅館	平成11年2月3日	平成31年4月～令和2年2月
② ハーバーHANAZONO	令和元年8月18日	令和元年10月～令和2年2月
③ ヴィラ港町	令和2年3月3日	令和2年4月～令和2年6月
④	年 月 日	年 月～ 年 月

休業による水道閉栓期間がない場合は「0」

【①の申請金額の計算】

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{(基準額)} \\ \hline 259,741 \text{円} \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{(請求月数)} \\ \hline 6 \text{か月} \\ \hline \end{array} \times (6 - \begin{array}{|c|} \hline \text{(0円の請求月数)} \\ \hline 0 \text{か月} \\ \hline \end{array}) \Rightarrow \begin{array}{|c|} \hline \text{(申請金額①)} \\ \hline 259,741 \text{円} \\ \hline \end{array}$$

【②の申請金額の計算】

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{(基準額)} \\ \hline 117,859 \text{円} \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{(請求月数)} \\ \hline 3 \text{か月} \\ \hline \end{array} \times (6 - \begin{array}{|c|} \hline \text{(0円の請求月数)} \\ \hline 0 \text{か月} \\ \hline \end{array}) \Rightarrow \begin{array}{|c|} \hline \text{(申請金額②)} \\ \hline 235,717.99 \text{円} \\ \hline \end{array}$$

【③の申請金額の計算】

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{(基準額)} \\ \hline 81,344 \text{円} \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{(請求月数)} \\ \hline 2 \text{か月} \\ \hline \end{array} \times (6 - \begin{array}{|c|} \hline \text{(0円の請求月数)} \\ \hline 0 \text{か月} \\ \hline \end{array}) \Rightarrow \begin{array}{|c|} \hline \text{(申請金額③)} \\ \hline 244,032 \text{円} \\ \hline \end{array}$$

【④の申請金額の計算】

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{(基準額)} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array} \div \begin{array}{|c|} \hline \text{(請求月数)} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array} \times (6 - \begin{array}{|c|} \hline \text{(0円の請求月数)} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}) \Rightarrow \begin{array}{|c|} \hline \text{(申請金額④)} \\ \hline \text{円} \\ \hline \end{array}$$

合計額 (1,000円未満切り捨て) を記載し、申請書の申請金額欄にも転記。

【合計の申請金額】

①～④の合計 739,000 円 (1,000円未満切り捨て)

領収書の合計金額を記載してください。